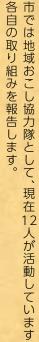
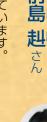
地域おるし協力隊通信

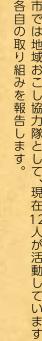
vol.21 ブランド推進マネージャー 前島赳さん













ちの母ちゃんと 受賞式に臨みま

菊池に来て良かった! 郷土料理の商品開発に成功

不安もありました。 ること。コンクールで受賞できる商 菊池の農産物のブランド力を高め も優しい人がいっぱい。とても充実 らえるか不安でしたが、市民も職場 品開発を目標にしましたが、当初は した生活が送れました。私の任務は 当初は菊池の人に受け入れても

るとお腹が減るのが悩みです。 品コンクールで最優秀賞を受賞し、 目の最後に発売。県の農産物加工食 料理を勉強中。新たなブランド化も 熊本代表になりました。現在は郷土 女性加工グループ「きくちの母ちゃ との思いを胸に、試行錯誤の末2年 企画しました。「地元に愛され、特産 として根強く残る加工品にしたい. ん」が作る「きのこ南蛮」の商品化を したいのですが、食の勉強をしてい 2年目に入り、シイタケ生産者の

8

ワイン関係の前職を 生かして企画した

業後も菊池に残るので、これからも よろしくお願いします。 いて、3年前には想像もできなかっ た充実した生活を送っています。卒 地元の人とも仲良く交流できて









のおはなし会」を実施。流暢な英語

した。小森田百合子隊員は「えいご 公募展に入選する実力を発揮しま

で絵本の読み聞かせをして、子ども





たちは大喜びでした。



て前島赳隊員が菊池の銘菓「松風」

た。また、コーヒーのお茶請けとし コーヒーのブレンド講座を行いまし 集まった幅広い世代の参加者に、

草野優二隊員は実家が喫茶店。





学のワークショップを開催。熱心な

松枝智博隊員は、日常で使える心理 のアレンジスイーツを提供しました。

参加者とは専門用語が飛び交い、盛





り上がりを見せました。

章に、多くの来場者が足を止めて見 作。岩本晃彦隊員がプロデュースし 域おこし協力隊通信」の特別版を製 力隊の活動内容や個性を書いた文 パネル化して展示しました。各協 展示コーナーでは、広報きくち「地

ていきます。 てもらえるよう、今後も周知を続け 地域の人たちに活動をもっと知っ ていました。

2・7隊員のパネルの前には仕事に関するもの 【写真】1心理学をレクチャーする松枝隊員 を展示 3 当日配布するフライヤーを準備す 池() 6英語で読み聞かせをする小森田隊員 大盛況「橋本隊員が描いた「幻の城下町、菊 る岩本隊員 4・8 草野隊員のコーヒー講座は



企画振興課 20968(25)7250

【問い合わせ先】



菊池の歴史がテーマの絵画を展示。 た1周年イベント。橋本眞也隊員は

各隊員が特技を活かして参加し

キクロス1周年イベントに

協力隊も参加しました